

# REVINT

144/430MHz帯高利得2バンド  
ガラスマウントモービルアンテナ レピーター対応型

## TG509/TG506

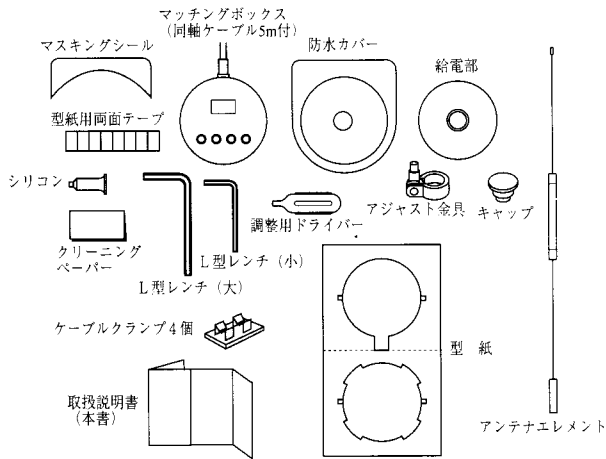
特許出願済 意匠登録出願済

### 取扱説明書

このたびは、TGシリーズ（レヴァント）をお買い上げいただきましてありがとうございます。このアンテナは、ガラスに貼り付けて使用する無線用アンテナです。取り付け作業はこの取扱説明書をよく読んで確実に行ってください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

### ●構成部品

このアンテナは次の部品で構成されています。開封時にご確認ください。



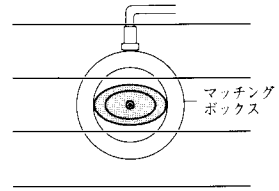
### I 取り付け前の準備

- ・エレメントが車の屋根などの金属部分に近づきすぎるとSWR調整ができないことがあります。この場合は、エレメントを金属部分から遠ざけるように傾けるか取付場所の変更を行ってください。
- ・湿気が多いとき（霧や雨などのとき）は作業を行わないでください。
- ・ステッカーなどの貼ってある場所への取り付けは接着強度が落ちるためできません。
- ・リアガラスにラジオ用のアンテナが入っている車種があります。ラジオ用のアンテナに近い位置に取り付けると、送信した時ラジオに雑音が入る場合があります。  
クリーニングペーパー、シリコンの取扱について
- ・幼児の手の届くところに置かないでください。
- ・万一飲み込んだ場合は、水を飲ませるか吐かせるなどの処置をし、医師にご相談ください。
- ・目に入れた場合は、水洗いし、医師にご相談ください。
- ・火気の近くに置かないでください。

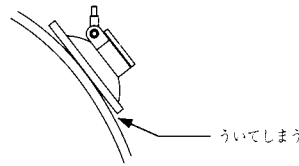


### (1) 取り付け場所の確認をします

- ①車内からマッチングボックスをあて、次の点に注意して取り付け場所の確認を行ってください。
  - ・視界を妨げるような場所ではないですか？
  - ・楕円の容量板が熱線またはガラスに内蔵されたラジオ用アンテナの部分にかかっていないですか？ただし、熱線と熱線の間に付けることは可能です。
  - ・ケーブルの引き回しや調整作業などに支障がないですか？
  - ・ガラス面が極端にカーブした場所ではないですか？



- ②次に車外からもアンテナをあててください。車内から確認した取り付け位置で問題がないか、次の点とあわせて確認してください。
  - ・リアワイパーのある車種では、リアワイパーが正常に動作できますか？
  - ・アンテナエレメントを垂直に立てたときにリアスポイラーなど障害物はないですか？
  - ・ガラス面が極端にカーブした場所ではないですか？



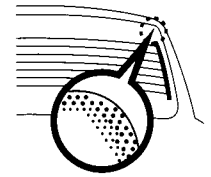
### ③同軸ケーブルの引き出し方向

熱線のある場合…上または下になります。熱線のない場合…どの方向でも取り付けられます。

\*車種によってはガラス面に黒い斑点状の塗装部があります。この塗装部分は、電気的な影響がないので取り付け可能です。

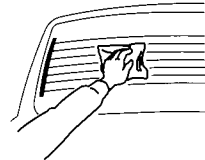
\*ガラス内側に貼り付けるタイプの着色フィルムは電気的な問題はありませんが、接着強度を保つためになるべくはがしてお使いください。

\*フロントガラス、運転者側サイドガラスにアンテナを取り付けしないでください。道路運送車両法により、フロントガラスにアンテナを貼り付けることは禁止されています。



### (2) 取り付け面の汚れを拭き取ります

取り付けようとするガラス面をあらかじめ清掃したあと、付属のクリーニングペーパーで、ワックス、油分などをよく拭き取り乾燥させます。液体ワイパーなど、ガラス面に強力に付着する薬品が塗ってある場合は、あらかじめコンパウンドなどで完全に取り去ってからアンテナを取り付ける位置の車外、車内ガラス面両面をクリーニングペーパーで拭き取ってください。



### II 取り付け方

- ・両面接着を行います。取
- ・一度貼り付
- ・一度貼り付

### (1) 車内側

- ①車内用の型紙は車内
- ②ガラス面を

- ③同軸ケーブル

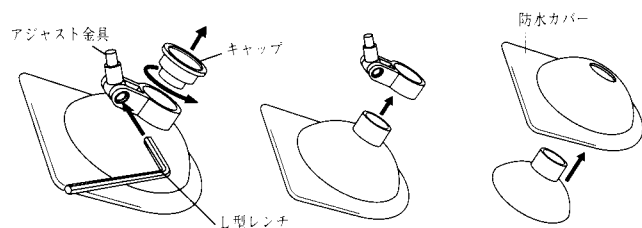


- ④同軸ケーブル

- (2) 車外側

## ②エレメント、防水カバーをはずします

キャップをはずし、L型レンチ（大）でアジャスト金具を緩めエレメントをはずします。次に防水カバーをはずします。

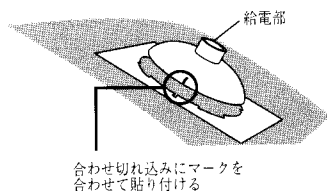


## ③ガラス面を暖めます。

マッチングボックスの貼り付け時と同じ手順で行ってください。

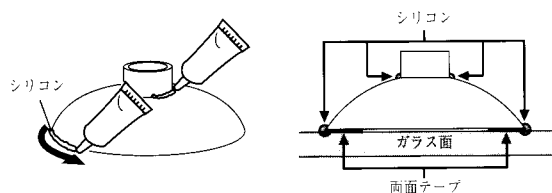
## ④給電部を貼り付けます

給電部裏面の剥離紙をはがします。取り付けときは、車外用の型紙の合わせ切れ込みと、給電部のマークを合わせて貼り付け、外周を押すように加圧してください。取り付けが終わったら、車内外の型紙をはがしてください。



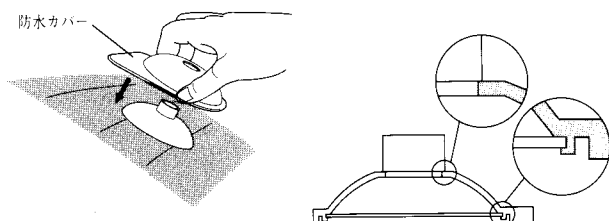
## （3）給電部に防水用のシリコンを充填します。

画面接着テープを保護するための、防水用シリコンを給電部の全周に充填します。軸のつけねのまわりにも少量のシリコンを充填します。図を参考に少しずつすきまに入れてください。



## （4）防水カバーを取り付けます

シリコンが完全に固まる前に作業します。防水カバー裏面の剥離紙をはがし、給電部を覆うようにガラス面に密着させます。給電部の中央部と外周は、防水カバーにかみ合うようになっています。防水カバーの中央部および外周を押さえるようにして確実にかみ合わせます。

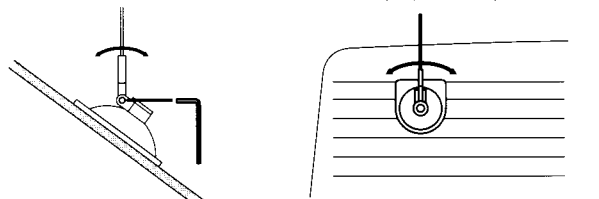


## （5）アジャスト金具、キャップ、エレメントを取り付けます

アジャスト金具、キャップ、エレメントの順序で取り付けます。エレメントは、指で確実に締め付けてください。

## （6）エレメントを垂直に立てます。

アジャスト金具のネジをL型レンチ(大)で緩めて、エレメントを垂直にたてて締め付けてください。アジャスト金具のネジを緩めることで縦横両方の角度調整が自在になります。

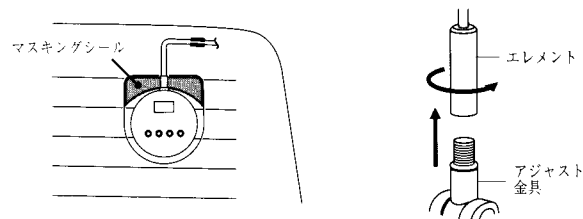


## （7）車内にマスキングシールを貼ります。

車内から防水カバー裏面が見えないようにマスキングシールを貼ります。

★エレメントは通常垂直に立てて使用しますが、車体の影響を避けるために少し傾けた方がよい場合があります。

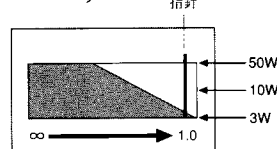
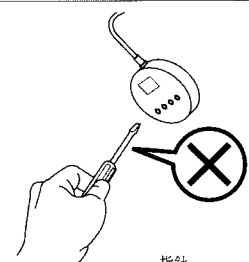
★洗車時は、エレメントをはずしてください。ネジを緩めると簡単にエレメントをはずすことができます。



## III 調整方法

アンテナの性能は、調整の具合によって決まりますので、確実に行ってください。

- ・調整は、アンテナエレメントを取り付けた後に行ってください。
- ・調整用のエアトリマーは、絶縁された付属の調整ドライバー以外では絶対に回さないでください。内部は高電圧になっており危険です。
- ・調整は確実に行ってください。SWRモニターの振れが範囲内に入っていないまま長時間使用すると無線機の故障の原因となる場合があります。
- ・このアンテナの耐入力50Wです。これ以上のパワーは絶対に入れないでください。



## 1. 調整

### ①アンテナ

さい。

### ②アンテナ

い。ラ

※マッ

SWR

す。掛

とな

エア

の調整

付属

ぞれ

くださ

2. 調

★最初

が完

①144M

を中

ワー

のよう

整用

ます。

調整

リッ

くださ

②次に

波数付

が最

③①、

SWR

VSWR

④針の

てく

この

ばバ

にな

さい。

50W

ター

★シン

が下

★内部

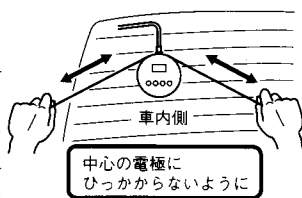
★1W以

とがあ

用して

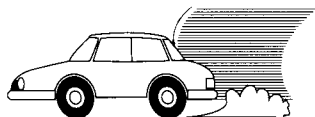
#### IV アンテナを取りはずしたい場合

アンテナを取りはずす必要のあるときは、ガラスとアンテナの間に細い針金をいれて左右にこすりながらはがします。車内側のマッティングボックスをはがすときは、針金が中心の電極部に引っかからないように注意してください。また車内側には、熱線やラジオ用のアンテナがありますので断線しないように注意してください。無理に力を加えてはがすと、ガラスが割れる恐れがありますのでご注意ください。もう一度取り付けるときは、必ず当社純正のリペアキットを使用してください。



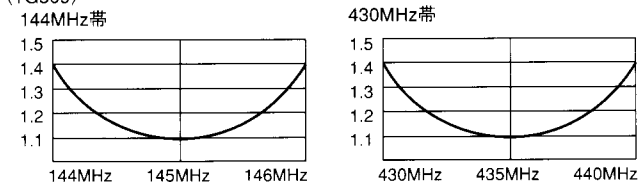
#### V 使用上の注意

1. TGシリーズに使用している両面接着テープは、通常の使用でははがれることはありません。ただしアンテナに強い衝撃がかかると取れやすくなりますのでご注意ください。極端な高速走行や、木や枝にアンテナがあたる場所での走行にはご注意ください。アンテナ取り付け後は、定期的に取り付け状態を確認してください。
2. ガラスに入っているラジオ用アンテナの近くにTGシリーズを取り付けた場合、車内のラジオに雑音が入ることがあります。
3. アンテナエレメントを固定するセットビスは、走行中に多少ゆるむ場合がありますので、特に新しいアンテナについては締め付けを十分に行ってください。L型レンチ（小）を使用します。
4. SWRモニターは、アンテナの反射波を直読しています。外部のSWR計で測定した場合には、同軸ケーブルが含まれるため、誤差が生じる場合があります。
5. ハイパワー（50W）運用すると、多少マッティング部が温まる場合があります。
6. 降雨時などは水滴の影響でSWRが悪くなる場合があります。

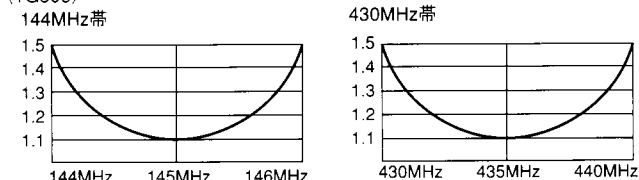


#### ● V SWR表

〈TG509〉

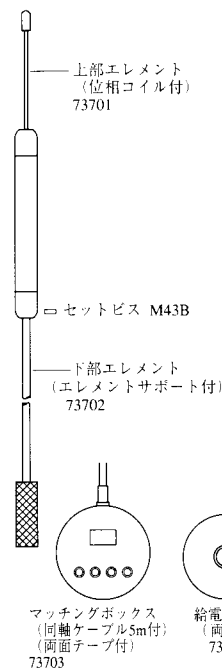


〈TG506〉

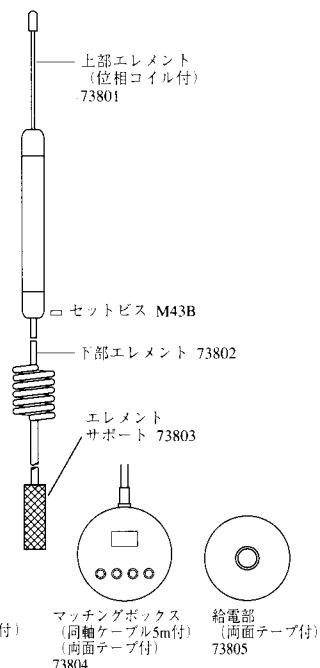


#### ● パーツ名称（番号）

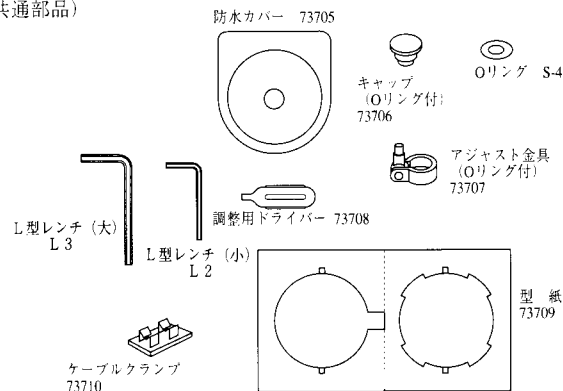
〈TG509〉



〈TG506〉



（共通部品）



#### ● リペアキットについて

一度取り付けしたTGシリーズをはがして、もう一度取り付けようとするときは必ず当社純正品をお使いください。リペアキット「TGRK1」を別売しています。販売店にお申し付けください。リペアキット「TGRK1」には、マスキングシール／防水カバー用両面テープ／マッティングボックス用両面テープ／給電部用両面テープ／型紙／型紙用両面テープ／シリコン／クリーニングペーパー／取扱説明書がセットされています。